

各位

2013年6月10日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部(広報) 担当:立花
TEL:03-6891-6839

旅行取扱状況の概観(平成25年4月分)

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事、KNTアジア、の合算額となります。

記

海外旅行の取扱いは、一般団体は前年比95.2%、学生団体は同70.6%と前年を下回った結果、団体旅行合計で同91.0%と前年を下回った。企画旅行については、東アジア方面をはじめ全般的に不振であり、前年比65.5%であった。個人旅行については、前年比91.8%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比75.6%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取扱いは、一般団体は前年比83.6%、学生団体は同91.7%と下回った結果、団体旅行合計で同88.6%と前年を下回った。企画旅行については同104.4%となり前年を上回った。個人旅行については前年比94.4%であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比98.7%とほぼ前年と同水準の結果であった。

外国人旅行は、前年比115.6%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の4月の総取扱額は、前年比92.9%であった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は前年比95.9%であった。学生団体は昨年大型の海外修学旅行を複数校取扱った反動もあり前年比70.6%であった。海外団体旅行合計で前年比91.5%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年比84.2%、学生団体は同91.7%となり、国内団体旅行合計で前年比88.9%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数で前年比98.2%、取扱額で前年比97.8%と前年を僅かに下回った。方面別取扱人数の状況では、東北、首都圏、伊勢志摩方面などが前年を大きく上回ったほか、関東、北陸、信州方面などが好調である。

ホリデイは、販売割合が高いアジア方面やオセアニア方面など、全般的に不調であり、取扱人数、取扱額とも前年を下回った。特に中国方面については引き続き大きく低迷している。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、東アジア、中国方面の不振が継続していることなどにより前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は前年比115.0%と好調に推移した。特に北海道方面やスポーツ関連の旅行が好調であった。

バス旅行部門は、桜の早期開花により首都圏地区の拠点が大きく影響を受けたが、北海道・名古屋・関西などの拠点が好調であり、98.8%とほぼ前年並みの結果であった。

テーマ旅行部門は、海外旅行が苦戦したものの国内旅行は堅調であり、前年比98.2%であった。

以上